

小豆島町 いきいきプラン

～第2次男女共同参画基本計画～

【令和2年度改訂概要版】



計画の目的

男女共同参画社会とは、男女がお互いを尊重しあい、社会のあらゆる分野で、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮し、喜びや責任を分かち合うことのできる社会です。

小豆島町では、自分を大切にそして相手も大切にできる人権尊重の精神を誰もが持つことのできる社会、また、性別にかかわらず、社会のあらゆる分野において、自らの意思で生き方を選択し、誰もがいきいきと暮らせる社会を目指します。

そのために、個性や個人の意識を大切にしながらも、今までの固定的概念にとらわれず、男女共同参画の視点を取り入れた、誰もが住みやすい小豆島町をつくるための基本計画を策定するものです。

計画の目標

誰もがいきいきと暮らせる社会の実現

計画の期間

平成28年度～令和7年度

※令和2年度にアンケート調査を実施し、計画・指標を見直しました。

※社会情勢の変化等に応じて、随時見直しを図ります。

小豆島町住民生活課 男女共同参画推進室

〒761-4492

香川県小豆郡小豆島町片城甲4番地95

TEL 0879-82-7004

基本目標 I

さまざまな分野での男女の意識づくり

重点目標

施策の内容

男女平等と男女共同参画の意識づくり

- 男女平等意識を高めるための啓発活動
- 男女共同参画の必要性を認識し理解を深めるような啓発活動
- 男女共同参画に関する広報活動

男女平等・男女共同参画の視点に立つ学校教育の推進

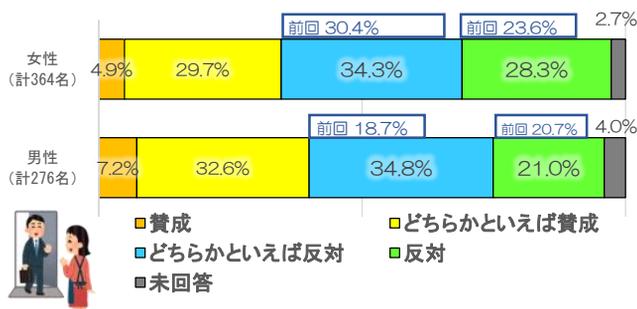
- 教育現場で発達段階に応じた人権教育
- 中学校、高等学校でのDV等暴力防止の教育
- 教職員が共通認識を持つような研修

男女平等・男女共同参画の視点に立つ生涯学習の推進

- 地域活動を通して男女共同参画の学習の場を提供
- 生涯学習としてのボランティア活動の推進
- 男女共同参画に関する継続的な学習講座の開催

固定的性別役割分担意識の解消

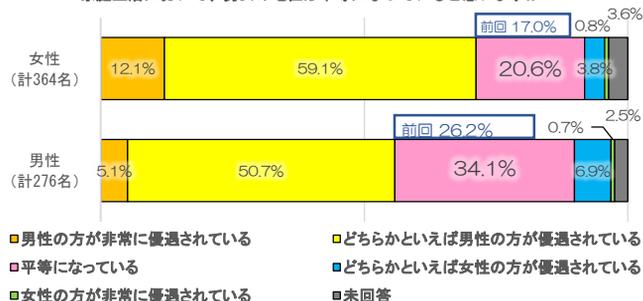
男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである



小豆島町「男女共同参画社会実現に向けた町民意識調査」(令和2年)

男女平等意識の醸成

家庭生活において、男女の地位は平等になっていると思いますか



小豆島町「男女共同参画社会実現に向けた町民意識調査」(令和2年)

評価指標	現状値 (H28)	目標値 (R2)	現状値 (R2)	目標値 (R7)
「男性は仕事、女性は家庭」という考え方に反対の割合	女性 53.6% 男性 39.4%	女性 55.0% 男性 45.0%	女性 62.6% 男性 55.8%	女性 70.0% 男性 60.0%
家庭生活の中で男女の地位が平等になっていると思う人の割合	女性 17.0% 男性 26.2%	女性 24.0% 男性 31.0%	女性 20.6% 男性 34.1%	女性 24.0% 男性 40.0%
「掃除をする」家事を、夫婦で同じ程度行っている割合	女性 12.7% 男性 8.9%	女性 18.0% 男性 15.0%	女性 12.4% 男性 18.1%	女性 18.0% 男性 20.0%
男女共同参画講演会に参加した男性の割合	25.8%	30.0%	39.3%	45.0%
人権啓発に関する講座・講演会・研修会等の開催回数	4回 / 年	8回 / 年	8回 / 年	8回 / 年
全国学力・学習状況調査の質問紙調査において、自尊心に関わる質問項目について	小学校 【全国平均以上】 中学校 【全国平均以下】	小学校 【全国平均以上】 中学校 【全国平均以上】	小学校 (R1) 【全国平均以下】 中学校 (R1) 【全国平均以上】	小学校 【全国平均以上】 中学校 【全国平均以上】

重点目標

施策の内容

政策・方針決定過程への女性の参画推進

- 小豆島町における女性の参画推進
- 地域活動・学校活動における女性・男性の参画推進
- 政策・方針決定過程への女性の参画

ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭の調和）の推進【女性活躍推進計画】

- ワーク・ライフ・バランスの普及・啓発・環境づくり
- 子育て支援対策の充実
【小豆島町すくすく子育て応援アクションプランに基づく】
- 介護負担の軽減と男女分担意識の醸成
【小豆島町介護保険事業計画・老人福祉計画に基づく】
- 男女の育児休業取得促進と男性の家事・育児・介護への参画

女性の職業生活における活躍の推進【女性活躍推進計画】

- 企業・事業所への「女性活躍推進法」の周知
- 女性が働くことへの意識の醸成

女性の働き方に対する考え

女性が職業を持つことについてどう思いますか

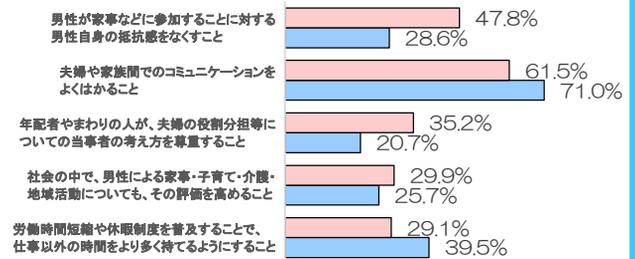


- 結婚するまでは、職業を持つ方がよい
- 子どもができるまでは、職業を持つ方がよい
- 子どもができたから職業をやめ、大きくなったら再び職業を持った方がよい
- 子どもができて、ずっと職業を持ち続ける方がよい
- 女性は職業を持たない方がよい
- 未回答

小豆島町「男女共同参画社会実現に向けた町民意識調査」(令和2年)

男女がともに家庭・地域活動に参加するために

今後、男性が女性とともに家事・子育て・介護・地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか



□女性(計364名) □男性(計276名)

小豆島町「男女共同参画社会実現に向けた町民意識調査」(令和2年)

評価指標	現状値 (H28)	目標値 (R2)	現状値 (R2)	目標値 (R7)
子どもができて、ずっと職業を持ち続けるほうがよいと感じる人の割合	女性 42.2% 男性 39.6%	女性 50.0% 男性 45.0%	女性 60.2% 男性 58.3%	女性 70.0% 男性 60.0%
小豆島町の審議会における女性委員の登用率	17.9%	23.0%	20.8%	23.0%
小豆島町職員の女性管理職の割合	7.1%	16.0%	13.3%	16.0%
小豆島町が主催する講演会等の託児サービスを実施するための託児ボランティアの登録	—	20人	14人	20人
介護予防ボランティア登録者数	220人(H26)	350人(R1)	310人(R1)	385人
介護予防運動教室 年間参加者数	150人(H26)	200人(R1)	80人(R1)	80人
サロン活動の取り組み箇所数	26箇所(H26)	35箇所(R1)	51箇所(R1)	57箇所
プレママ・プレパパのマタニティ教室の父親の参加割合	10.0%(H26)	30.0%(R1)	14.3%(R1)	30.0%

重点目標

施策の内容

DV防止対策

(男女間におけるあらゆる暴力の根絶)の推進
【DV防止基本計画】

- DV発生の防止・抑制に向けた啓発
- DV被害者の早期発見のための体制づくり
- DV被害者の相談体制の充実
- 虐待防止等ネットワーク会議での連携

ハラスメント防止対策の推進

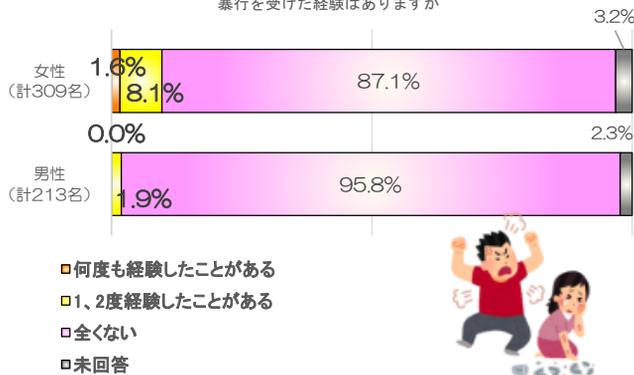
- ハラスメントを認識するための研修
- ハラスメント防止対策の推進
- ハラスメント相談窓口の周知と支援

誰もが安心していきいきと暮らせるための支援

- 誰もが人権尊重の精神を持つための教育・啓発活動
【人権教育・啓発に関する基本計画に基づく】
- 高齢者・障害者・外国人・ひとり親家庭などに対する相談・支援
- 誰もが地域でいきいきと活躍できるための支援

小豆島町におけるDVの状況

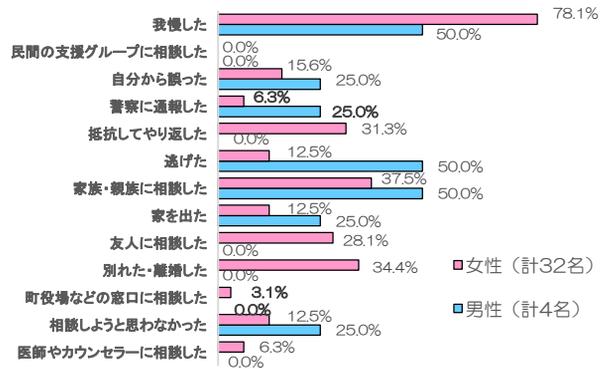
今までに配偶者や恋人から医師の治療が必要とされない程度の暴行を受けた経験はありますか



小豆島町「男女共同参画社会実現に向けた町民意識調査」(令和2年)

DV被害を受けた際の対応

配偶者や恋人から医師の治療が必要とされない程度の暴行を受けた際、どうしましたか



小豆島町「男女共同参画社会実現に向けた町民意識調査」(令和2年)

評価指標	現状値 (H28)	目標値 (R2)	現状値 (R2)	目標値 (R7)
「医師の治療が必要とされない程度の暴行を受けたことがある」と答えた人の割合	女性 10.8% 男性 2.1%	女性 7.0% 男性 1.5%	女性 9.7% 男性 1.9%	女性 7.0% 男性 1.5%
医師の治療が必要とされない程度の暴行を受けたことがある人のうち、公的機関に相談した人の割合	女性 9.7% 男性 0%	女性 13.0% 男性 3.0%	女性 9.4% 男性 25.0%	女性 13.0% 男性 20.0%
DV防止(デートDV含む)に関する出前講座研修会開催回数	2回 / 年	4回 / 年	2回 / 年	4回 / 年
DVに関する相談窓口を知っている割合	—	60.0%	77.8%	80.0%
人権問題を「差別のことであり」とイメージする割合	29.8%(H23)	25.0%	30.2%(H30)	—
人権を「しあわせづくりのことであり」とイメージする割合	23.9%(H23)	—	30.8%(H30)	40.0%
虐待防止等ネットワーク会議の全体研修会と講演会の開催回数	1回 / 年	2回 / 年	2回 / 年	2回 / 年